

1学年 技術・家庭科

技術分野 1年間の学習内容とねらい

技術分野の目標
生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てることをねらいとしています。

評価の観点・方法
技術・家庭科は以下の4つの観点で評価します。 ①生活や技術への関心・意欲・態度 - 授業の出席状況 - 授業記録の記入状況 - 作品の提出状況 - 授業に取り組む態度 - 授業用具の所持 - 授業中の発表 - 自他の安全の配慮 ②生活を工夫し創造する能力 - 授業の出席状況 - 授業記録の創造的な記入内容 - 作業を効率よく計画的に進める工夫 - 独自性のある創造的な作品 - 授業中の創造的な発表内容 ③生活の技能 - 授業の出席状況 - 作品の製作技能 - 作品の完成度 - 工具やコンピュータの操作技能 - 学習記録の製本技能 ④生活と技術についての知識・理解 - 授業の出席状況 - 授業記録の記入状況 - 基礎知識 - 工具や機械、コンピュータの操作知識 - 材料に関する知識 - 安全に関する知識

特色ある学習方法
○製作、整備、操作などの実習や、実験、観察、見学、調査・研究など、それぞれの特徴を生かした適切な実践的・体験的な学習活動を行います。 ○生徒自らが課題を発見したり、意欲をもって追究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行います。 ○コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を、技術分野「B情報とコンピュータ」の学習との関連を図りながら積極的に活用します。 ○技術・家庭科では、機械類、刃物類、引火性液体、電気、ガス、火気などを取り扱って実習するため、安全の保持に十分留意するとともに、安全な行動を進んでできるようにします。

学習内容		学習のねらい
4月	社会や生活における技術の役割	1技術を見つけよう ・3年間のガイダンスを行う ①さまざまな技術 ②技術ってすばらしい ○技術の役割について知る。
	技術と私たちの生活	2技術と私たちの生活 ①技術の進展と生活・産業 ②資源の有効利用と環境 ③持続可能な社会と共生 ○生活と技術の関わりについて知る
5月	3技術分野の学習	3技術分野の学習 ①技術分野で学ぶ内容 ②学習の進め方と作業の安全 ③技術分野の学習の目標をもとう ○技術分野の学習内容について知る
	1情報とわたしたちの生活	1情報とわたしたちの生活 ①情報社会の技術を見てみよう ②情報の技術とその役割 ○コンピュータが生活や産業の中で果たしてきた役割を考える。
6月	2コンピュータと情報処理	2コンピュータと情報処理 ①コンピュータの構成 ②情報を処理するしくみ ③デジタル化の方法 ④デジタル化した情報の量と保存 ○コンピュータの基本的な構成と各部の機能について知り基本的な操作ができる。
	3情報通信ネットワークの利用	3情報通信ネットワークの利用 ①ネットワークの構成 ②ネットワークでできること ③情報を伝えるしくみ ○ハードウェアとソフトウェアについて知る。
7月	4ネットワークと情報セキュリティ	4ネットワークと情報セキュリティ ①ネットワークの安全性 ②情報セキュリティ ○情報社会の危険性について考える。
	5情報モラルと知的財産	5情報モラルと知的財産 ①利用するときのモラル ②発信するときのモラル ③人権や個人情報の保護 ④知的財産の保護 ○著作権や肖像権、個人情報について考える。
9月	6デジタル作品の設計と制作	6デジタル作品の設計と制作 ①生活の中のメディア ②デジタル作品の構想 ③情報の収集と加工 ④作品の制作・発表 ○目的に見合ったソフトウェアを用いて作品を制作できる。
	10月	○デジタルカメラを使い、写真の処理ができる。 ○デジタル情報を印刷や保存することができる。 ○作品の発表会を通して情報の発信ができる。
11月	12月	1ものづくりの工夫と進め方 ①製品の工夫と技術の進歩 ②材料の特徴 ③材料と環境とのかかわり ○ペンスタンドの簡単な設計ができる。
	1月	5製作 ①製作の進め方 ○材料の特徴と利用方法について知る。
2月	5-1木材による製作	5-1木材による製作 ①部品表と工程表 ②けがき ③切断 ④切削 ⑦組立て ⑧表面と角の仕上げ ○材料に適した加工法を調べることができる。
	3月	○計画的な製作をできる。 ○工具や機器を適切に使い製作できる。 ○工具や機器を安全に使うことができる。
学習のまとめ		○組立ておよび仕上げができる。